

※機器の入れ替えの場合は、取付設置説明書を確認してください。

## 転倒防止金具・調整金具取付位置用型紙の使用方法

### 1. 型紙の準備

- 調整金具、転倒防止金具の位置決めを行うため、隣接するキャビネットの扉厚み、パッキン厚みを測定し、右の「パネルタイプの場合」または「面材タイプの場合」にしたがって型紙前端的の不要な部分を切り取ります。
- 型紙の前端をキャビネットの前面木口に合わせて右下のイラストのようにテープで型紙が動かないように固定してください。

### 2. 型紙の固定と穴あけ位置目印のつけ方

#### ■収納キャビネットに下穴があいている場合

型紙の調整金具取付位置及び転倒防止金具取付位置にそれぞれの固定金具を置いて、記載の穴位置とズレていないか確認してください。

#### ■収納キャビネットに下穴があいていない場合

- 型紙の調整金具(L)(R)用ネジ穴で「0」の位置にある穴位置((L)(R)各2か所)の中心に目印(キリまたはポンチ)をつけてください。
- 型紙の転倒防止金具取付位置に金具を置いて、金具に刻印されている矢印の穴位置(左右各2か所)の中心に目印(キリまたはポンチ)をつけてください。その後、転倒防止金具の同じ矢印の刻印にマジック等で印をつけておいてください。
- 型紙を外して、先につけたネジ穴の目印位置(前4か所、後4か所の計8か所)にφ2.5、深さ12 mmの穴を精度良くあけてください。

### 3. 転倒防止金具の取り付け

- マジック等で先に印をつけた転倒防止金具(L)(R)の穴を下穴位置に合わせて、それぞれ2本のネジ14 mm(同梱)で固定します。ネジは必ず手で締めてください。(電動ドライバーは使わないこと)

### 4. 調整金具の取り付け

- 下穴に合わせて調整金具(L)(R)をそれぞれ2本のネジ14 mm(同梱)で固定します。ネジは必ず手で締めてください。(電動ドライバーは使わないこと)

【注意】「パネルタイプの場合」または「面材タイプの場合」によって取り付け位置が異なります。

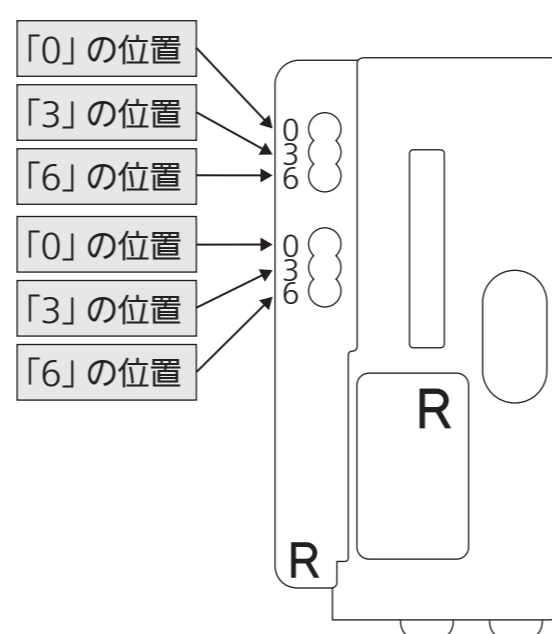
#### 面材タイプの場合

面材の厚みによって調整金具の取り付け位置が異なります。取付設置説明書を参照ください。

※取り付け位置を間違えるとキッチンのドアと面材が揃いません。

#### パネルタイプの場合

「0」の位置でネジを固定します。



458  
481.5

### パネルタイプの場合

キャビネットの扉厚みによる型紙位置合わせ表

扉厚み	パッキン厚み	前面木口からの寸法	キリトリ線
15 mm	4 mm	52 mm	なし(型紙前端)
18 mm	4 mm	49 mm	-----
21 mm	4 mm	46 mm	-----

※上の表はパッキン厚み4 mmで、製品のドアに4 mm厚みのパネル(化粧板)を取り付けたときに、パネル前端と隣接するキッチン扉の面を合わせる場合の一例です。

パネル(化粧板)厚みが4 mmと異なる場合や、キッチンの扉厚みやパッキン厚みが異なる場合は下の表にしたがって計算を行い、ネジの下穴をあける位置の調整を行ってください。

【計算例】現物寸法を測り、下記の式からその差異を求め、前端からの寸法からその合計を引いた寸法が下穴をあける位置となります。

- ①パネル(化粧板)厚み3 mm、
- ②キッチンの扉厚み18 mm、
- ③パッキン厚み6 mmの場合。

	基準寸法	現物寸法	差異
①パネル厚み	4 mm	3 mm	1 mm
②扉厚み	現物寸法	基準寸法	差異
③パッキン厚み	6 mm	4 mm	2 mm
①+②+③ 合計			3 mm

基準寸法	合計寸法	下穴位置
49 mm	3 mm	46 mm

### 面材タイプの場合

※ドア面材タイプの場合は、前面木口からの寸法が「52 mm」を基準寸法としてパッキン厚み4 mmの場合に、ドア面材と隣接するキッチン扉が合います。パッキンの厚みが4 mmと異なる場合は、基準寸法「52 mm」から(③パッキン厚み)の差異を引いてください。

【計算例】パッキン厚み6 mmの場合は、基準寸法「52 mm」から「2 mm」を引いた寸法の「50 mm」が下穴をあける位置となります。

